

関係各位

愛知県農業総合試験場長
(公印省略)

病害虫発生予察情報について(送付)

このことについて、下記のとおり発表しましたので、参考にしてください。

記

令和6年度病害虫発生予報第12号(3月)

担当 環境基盤研究部病害虫防除室
電話 0561-41-9513
ファックス 0561-63-7820

令和6年度病害虫発生予報第12号(3月)

令和7年3月5日
愛知県

普通作物

・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
コムギ	赤さび病	やや多い	県全域	前年は一部地域で発生が確認された 3月の気温は高い 3月の降水量は平年並か多い	-~± + ±~+

・防除対策

[コムギ・赤さび病]

本日発表の「コムギ赤さび病情報第1号」を参照してください。

・留意事項

コムギ黄斑病の初発が一部ほ場で確認されています。詳細は、本日発表の「コムギ黄斑病情報第1号」を参照してください。

果樹

・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
ナシ	黒星病	平年並	県全域	前年秋期の発生量はやや少ない 3月の降水量は平年並か多い	- ±~+

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報へ の影響
モモ	せん孔細菌病	平年並	県全域	前年秋期の発生量はやや少ない 3月の降水量は平年並か多い	－ ±～＋
ブドウ	黒とう病	平年並	県全域	前年の発生量は平年並	±

・留意事項

カンキツそうか病について、令和6年10月下旬に実施した巡回調査において発生量がやや多いほ場がありました。本病の病斑が多く形成された葉が第一次伝染源となるので、樹勢等生育に影響が出ない範囲で見つけ次第枝ごと除去しましょう。

野菜

・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報へ の影響
キャベツ	コナガ	平年並	県全域	2月下旬の発生量は平年並 3月の気温は高い 3月の降水量は平年並か多い	± ＋ －～±
タマネギ	白色疫病	やや多い	県全域	2月下旬の発生量は平年並 3月の降水量は平年並か多い	± ±～＋
	べと病	やや多い	県全域	2月下旬の発生量は平年並 3月の降水量は平年並か多い	± ±～＋
トマト (施設)	疫病	平年並	県全域	2月下旬の発生量は平年並	±
	灰色かび病	やや多い	県全域	2月下旬の発生量は平年並 3月の日照時間は平年並か少ない	± ±～＋
	葉かび病	やや多い	県全域	2月下旬の発生量は平年並 3月の日照時間は平年並か少ない	± ±～＋
	コナジラミ類	多い	県全域	2月下旬の発生量は多い 3月の気温は高い	＋ ＋
ナス (施設)	うどんこ病	やや多い	県全域	2月下旬の発生量はやや多い	＋
	灰色かび病	やや多い	県全域	2月下旬の発生量は平年並 3月の日照時間は平年並か少ない	± ±～＋
	すすかび病	平年並	県全域	2月下旬の発生量はやや少ない 3月の日照時間は平年並か少ない	－ ±～＋
	ミナミキイロ アザミウマ	やや多い	県全域	2月下旬の発生量はやや多い 3月の気温は高い	＋ ＋

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報へ の影響
キュウリ (施設)	べと病	やや多い	県全域	2月下旬の発生量は平年並 3月の日照時間は平年並か少ない	± ±～+
	うどんこ病	やや多い	県全域	2月下旬の発生量はやや多い	+
	灰色かび病	やや多い	県全域	2月下旬の発生量は平年並 3月の日照時間は平年並か少ない	± ±～+
	ミナミキイロ アザミウマ	やや多い	県全域	2月下旬の発生量は平年並 3月の気温は高い	± +
イチゴ (施設)	灰色かび病	やや多い	県全域	2月下旬の発生量は平年並 3月の日照時間は平年並か少ない	± ±～+
	うどんこ病	平年並	県全域	2月下旬の発生量は平年並	±
	ハダニ類	やや多い	県全域	2月下旬の発生量は平年並 3月の気温は高い	± +

・防除対策

〔タマネギ・白色疫病〕

1月31日発表の「タマネギ白色疫病情報第1号」を参考に防除しましょう。

〔タマネギ・べと病〕

発生株は伝染源となるため、見つけ次第抜き取り適切に処分しましょう。発生を確認したほ場では、ベトファイター顆粒水和剤やオロンディスウルトラ SCなどで速やかに防除しましょう。なお、収穫時期が近い作型では、農薬登録上の使用時期（収穫前日数）に注意しましょう。

〔トマト（施設）、ナス（施設）、キュウリ（施設）、イチゴ（施設）・灰色かび病〕

多湿条件で多発するので、湿度管理に注意するとともに、発病果等は適切に処分しましょう。ロブラール水和剤やベルコートフロアブルなどで防除しましょう。

〔トマト（施設）・葉かび病〕

ダコニール1000やトリフミン乳剤などで防除しましょう。

〔トマト（施設）・コナジラミ類〕

11月1日発表の「病害虫発生予察注意報第11号」を参考に防除しましょう。コナジラミ類は、トマト黄化病の病原ウイルス（T o C V）を、タバココナジラミは、トマト黄化葉巻病の病原ウイルス（TYLCV）を媒介します。気温の上昇に伴い増殖しやすくなりますので、黄色粘着板などを設置して発生状況に注意するとともに、発生量が多くなる前に防除しましょう。

〔ナス（施設）・うどんこ病〕

トリフミン乳剤やパレード20フロアブルなどで防除しましょう。

〔ナス（施設）、キュウリ（施設）・ミナミキイロアザミウマ〕

気温の上昇に伴い増殖しやすくなります。施設開口部や吸気口の付近等発生しやすい場所をよく観察し、発生を確認したらアグリメックなどで速やかに防除しましょう。天敵や訪花昆虫を放飼している場合は、それらへの影響を考慮し農薬を選びましょう。

〔キュウリ・べと病〕

発生を確認したほ場では、ベトファイター顆粒水和剤やライメイフロアブルなどで速やかに防除しましょう。罹病葉は伝染源となるため、見つけ次第適切に処分しましょう。

〔イチゴ（施設）・ハダニ類〕

ダニオーテフロアブルや気門封鎖型農薬等で防除しましょう。天敵や訪花昆虫を放飼している場合は、それらへの影響を考慮し農薬を選びましょう。

・留意事項

キャベツでは、春先に気温が高くなるとコナガの成育が早くなり、発生量が増加します。発生を確認したら速やかに防除しましょう。収穫終了後は、残さを速やかにすき込みましょう。

花き

・留意事項

夏秋ギクの採穂の時期になります。ウイルス病などの病害が発生していない親株から穂を採りましょう。

発生量に関する用語については、ホームページ「あいち病害虫情報」（アドレス：<https://www.pref.aichi.jp/site/byogaichu/yougo.html>）を参照してください。

参考

東海地方 1か月予報（名古屋地方気象台2月27日発表）

〈予想される向こう1か月の天候〉

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

期間のはじめは、気温がかなり高くなる見込みです。天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

向こう1か月の平均気温は、高い見込みです。降水量は、平年並か多い見込みです。日照時間は、平年並か少ない見込みです。

週別の気温は、1週目は、高い確率70%です。2週目は、平年並の確率50%です。3～4週目は、平年並または高い確率ともに40%です。

〈向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率〉

〔気温〕	低い：20%	平年並：30%	高い：50%
〔降水量〕	少ない：20%	平年並：40%	多い：40%
〔日照時間〕	少ない：40%	平年並：40%	多い：20%